

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	がん検診（本庁）			事業番号	011-183
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	健康さかい2 1（第2次）					
3	事業開始年度	昭和 58 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	健康増進法、堺市がん対策推進条例、堺市胃がん検診の実施に関する要綱、堺市肺がん検診の実施に関する要綱、堺市大腸がん検診の実施に関する要綱、堺市子宮がん検診の実施に関する要綱、堺市乳がん検診の実施に関する要綱					
事業の概要							
5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、各区（保健センター）					
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	胃：50歳以上偶数年齢の市民（約24.2万人） 肺：40歳以上の市民（約27.6万人） 大腸：40歳以上の市民（約27.6万人） 子宮：20歳以上偶数年齢の女性市民（約20.8万人） 乳：40歳以上偶数年齢の女性市（約17.4万人）				対象数	単位
						約48.4万	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	胃、肺、大腸、子宮、乳がんを早期に発見し治療に結びつけるため。					
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>検査内容</p> <p>胃：胃部エックス線または胃内視鏡検査 肺：胸部エックス線検査、たんの検査 大腸：便潜血検査 子宮：視診、内診、子宮頸部の細胞診（問診項目等により必要な方には子宮体部細胞診も実施） 乳：視触診、マンモグラフィ（40歳代の必要な方には超音波検査も実施）</p> <p>受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。 検診結果により、要精密検査になった方には精密検査を案内している。</p>					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般社団法人堺市医師会ほか					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定							
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度 令和7年度	
11 受診率 ・目標値は職域受診含む（国の目標） ・実績値は本市検診の受診分のみ	%	目標値	50	50	50	50	
		実績値	14	14			
		達成率	28%	28%			
当該指標を選定した理由	がん検診受診率を増加させることで、市民の健康の保持増進を図るため。						
目標値の設定根拠・算出方法	受診者数／対象者数						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 実施医療機関数	カ所		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			目標値	735	735		735
			実績値	735	735		
達成率	100%	100%					
当該指標を選定した理由	検診受診の機会を適切に確保するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	市内検診実施協力医療機関数(5がんの延べ医療機関数)						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	がん検診（本庁）	事業番号	011-183
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	861,203	777,549	867,806	927,410	868,464
13財源内訳					
国支出金	4,796	2,300	4,595	3,127	1,090
府支出金					0
市債					0
その他（堺市民健康生きがいづくり基金）			25,000	25,000	27,200
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	856,407	775,249	838,211	899,283	840,174
14人件費 (b)	16,320	17,690	17,690	17,690	17,690
15年間経費(c)=(a)+(b)	877,523	795,239	885,496	945,100	886,154

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R3 決算
16事業費内訳	報酬、職員手当	R3 決算	2,074	1,106	がん検診委託料	R3 決算	816,121	790,959
		R4 予算	4,059	3,047		R4 予算	775,551	748,351
	報償費	R3 決算	253	253	読影センター委託料	R3 決算	67,185	67,185
		R4 予算	363	363		R4 予算	67,264	67,264
	旅費	R3 決算	325	247	委託料	R3 決算	17,139	17,139
		R4 予算	312	234		R4 予算	13,076	13,076
	需用費	R3 決算	4,885	4,885	使用料及び賃借料	R3 決算	88	88
		R4 予算	3,022	3,022		R4 予算	190	190
	役務費	R3 決算	3,951	2,032	備品購入費	R3 決算	15,389	15,389
		R4 予算	4,627	4,627		R4 予算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① がん検診受診者数（胃・肺・大腸・子宮・乳）	人	105,837	122,362
② 上記①にかかる年間経費	千円	795,239	929,711
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,514	7,598
備考（算出についての説明等）		備品購入費除く（毎年かかる経費ではないため）	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルス感染症のまん延による市民の検診受診控えも影響し、R2にはがん検診受診者数が減少したが、無償化を延長したこともあり、R3は受診者数が若干回復している。しかし、令和元年の受診者数（128,236人）には戻っていない状況。がん検診無償化や勧奨はがき、SMSによる受診勧奨、啓発等により、事業の目的は達成している。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 がん検診の無償化、受診勧奨や啓発等を実施し、市民が定期的ながん検診を受診することで、がんの早期発見、早期治療につなげることが可能となり、市民の健康寿命の延伸に寄与したと考える。今後は、市民に向けた受診の必要性やがんに対する正しい知識を理解するための周知啓発活動を充実させ、がん検診受診率の向上に向けた取組を進めていく。